



今年度の活動、ありがとうございました。

～これからの更なる充実に向けて～

早いもので、令和6年度も終わろうとしています。各学校、活発で工夫された活動の数々、本当にありがとうございました。本部職員も現場に出かけていき、活動の様子を見せていただきましたが、子供たちの嬉しそうな様子や、支援していただく地域の方々が一生懸命関わってくださる様子に数多く出会うことができ、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。これから来年度に向けて、より一層充実した活動になるよう、私たちみんなが力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。

さて、先日の第2回地域学校協働本部会議でもお伝えしましたが、コーディネーターの皆様や各学校に行ったアンケート調査の結果、本部への希望として多かったものが①「**財源の確保**」②「**ボランティア人材の確保**」でした。本部としまして、それぞれの内容について今後とも可能な取組を行っていきたく考えています。

なお、②については、会議にて配付させていただきました「**令和6年度 ボランティア人材バンクガイドブック**」も活用していただければ幸いです。また、協働本部のライングループに地域コーディネーターの皆さんは参加されていると思いますが、これまでの活用の仕方としては、「活動したことの報告」が中心だったようです。それを**もう一步進めて、「こういう活動をするのに支援できる人を紹介してください。」といった、「助け合い情報交換」の場としても**使ってはいかがでしょうか。コーディネーターさん同士の横のつながりを強化するのにとても役立つと思ひます。

現在の課題をみんなで共有し、よりよい活動となるように、来年度も協力して頑張っていきたいと思います。

各学校の活動紹介です！

【八千把小】

2年生で行った、芋苗植え・芋料理づくりの様子です。地域の様々な方々にご協力いただきました。



【八竜小・坂本中】

八竜小学校5・6年生と坂本中学校3年生で、郷土料理の1つである「だご汁」を作りました。教えてくださったのは坂本町生活研究グループ連絡協議会のみなさんです。



【千丁小】

「4年生 先人に学ぶ(千丁町の干拓歴史)」干拓にまつわる郷土芸能を、大鞠節保存会と女相撲保存会の皆さんをお招きして学習しました。



第2回地域学校協働本部会議・第5回連絡調整会議から



2月14日（金）、八代市公民館にて、地域コーディネーターを対象に標記会議が実施されました。まず本部会議では、事務局から令和6年度事業報告・アンケート調査結果報告・令和7年度事業計画提案がなされ、滞りなく承認されました。次に連絡調整会議では、八代教育事務所SSW（スクールソーシャルワーカー）の守田典子先生をお招きして、『昨今の児童生徒の不登校にまつわる姿と大切にしたい視点』と題しての講話が行われました。

講話では、現在の日本の小中学生における不登校の状況をベースに、「なぜそういった状況になったのか」や「私たちがそのことをどうとらえるのか」「子供の育ちを支えるうえで私た

ちが何を大切にすればいいのか」といったことについて話があり、質疑応答では「地域の大人からは、子供たちの話し相手になっていいよ、というありがたい申し出もあるが、プライバシーの問題もあり、簡単にはお願いできることではない。どうしたらよいのか。」など様々な質問があり、この問題が各学校において非常に切実なものであることを表していました。

不登校問題については、児童生徒それぞれに違った背景や悩みがあり、これといった特効薬があるわけではありません。それだけに、一人一人に寄り添った丁寧な対応をしていく必要があると強く感じた講話となりました。

守田先生、ご多用な中に貴重なお話をしていただき、本当にありがとうございました。



トピック！八代支援学校での給食サポート活動



飲み込みやすいように食材をさらに小さくカットされています。（奥）

八代支援学校では安全で安心な給食を提供するため、給食の時間は特に気を使います。そのため、ボランティアが入っていただくのはとても助かります。職員もとても喜んでます。



つなぐ
支援学校長にインタビューしました。

八代支援学校では、給食配膳時のサポートとして地域の方がボランティアにいられています。現在は主に中学部に対して、給食受け庫から教室の前までの給食コンテナの運搬や配膳の他、必要に応じて様々な支援を行っておられます。担任の先生方にも、授業後の子供たちへの対応に集中できるととても好評です。ボランティアの方にお話を伺うと、

「自分自身が子供たちから元気をもられるし、楽しいです。子供たちとの会話が日に日に多くなっているのも、とても嬉しいと思います。」とのことでした。

堤校長は、「どの学校もそうでしょうが、支援学校はとにかく人手を必要としています。特に登校後、下校前の活動の支援に、より多くのボランティアの方が来てくださると嬉しいです。」とのことでした。やってみようかな、と思われる方は、ぜひ、支援学校までご連絡ください。（32-3251）



担任の先生方と情報交換しながら支援されています。（右端）

＜編集後記＞ この「つなぐ」は保護者の皆様には安心・安全メールで配信し、市民の皆様には市のHPで公開しています。また、今年度からは八代市立小・中・支援学校の職員の皆様一人一人にも送信しています。これからなお一層地域学校協働活動が充実できるよう、皆様のご意見をお待ちしています。生涯学習課 30-1110までご連絡ください。（事務局より）